

明治大学寄付講座をのぞいてみた

〈組合による社会貢献のカタチ〉

医療現場の実態と労働組合の役割を平易に説明



▲医療危機と看護職員の取り組みについて講義する牧田さん

ガイダンスから1週間後の4月17日、実際の講座の第1回目がスタートした。テーマは、「医療危機と看護職員の取り組み」で、講師は静岡県立こども病院の看護師である牧田彰一郎さんだ。職場のNICU（新生児集中治療室）病棟での仕事内容を紹介。その後は、超高齢社会で患者が増える一方、看護師や医師不足などの問題点について、専門用語や組合用語を使わず学生が理解できるように説明した。



▲講師と自治労、明治大関係者で講座を振り返りながら意見交換を行っている

ちで考え、行動することが大事で、それができるのが労働組合だ」と語った。熱心に聴講する学生からは医療の課題などについて質問があった。講義後は毎回、明治大と自

治労で講座の振り返りを実施。学生へのアンケートをもとに意見交換を行った。牧田

さんは「仕事内容を（学生など）知らない方々に話す意義は大きい。組合員に対しわか

りやすく伝えることにもつながる。多くの人に講師を体験してほしい」と話した。

寄付講座の概要

4月17日	医療の危機と看護職員の取り組み 静岡県立こども病院看護師 牧田 彰一郎
4月24日	健康で文化的な最低限度の生活 ～生活保護行政の現場から～ 熊本市中央区役所保護課ケースワーカー 麻生 唯華
5月8日	子育て支援の学童保育現場での取り組み 東京都八王子市立南大沢学童保育所所長 本橋 大輔
5月15日	国家財政・地方財政の課題と取り組み 北海道夕張市議会議員 厚谷 司
5月22日	地方自治体の関連職場で働く民間労働者の現状と雇用確保の取り組み 公益財団法人岡崎市学校給食協会東部学校給食センター総務係事務主任 後藤 芳章
5月29日	原発事故と復興支援 自治労福島県本部書記長 澤田 精一
6月5日	自治体の不安定雇用労働者、臨時・非常勤労働者の現状と労組の活動 東京都町田市民文化館ことばらんど 望月 みく 東京都町田市立中央図書館 野間 綾香
6月12日	男女平等の取り組み 大分県日田市商工観光部観光課主任 三苫 真依子
6月19日	消防職員の活動と地方自治体の責任 長野県須坂市消防本部須坂消防署高山分署 返町 直也 大阪府交野市消防本部交野市消防署 川上 修司
6月26日	廃棄物行政の確立と労働組合の役割 福岡県大牟田市役所環境部業務課(清掃) 深町 聡一郎
7月3日	都市公共交通の課題と取り組み 自治労本部交通政策局長 國眼 恵三
7月10日	労働組合との出会いを通じて 一自治労委員長との対話 自治労本部中央執行委員長 川本 淳
7月17日	平和と地方自治体の役割 一米軍基地問題を考える 沖縄県浦添市役所 平良 誠